

### 真宗まめ知識

#### 清め塩

葬儀のときの「清め塩」について、聞かれることがありますが、仏教の立場から申せば不要のものです。仏教の教えとは別に習俗としてつたえられてきたものです。葬式後の清め塩や、相撲で蒔く清め塩は、多くの日本人が昔から海の側で生活をしてきた為に、汚れたことが起こるたび、海辺で潮垢離（シオゴリ）を取って清めていた事から始まったものと考えられます。

つまり、穢れを祓（はら）うという役割を「清め塩」が果たしているものです。このほか、地域によつて、出棺の時、故人（こじん）が常用していたお茶碗を割る。家を出る時、棺をぐるぐる三回まわす。火葬場への行きと帰りを同じ道を通らない。など、様々な習俗があります。

しかし、このような死の受け止め方は、死を「穢（けが）れたもの」と見る事によつて、結果的に生前親しくしてきた人を、亡くなるたんんに「穢れたもの」として、心ならずも粗末に扱うことにつながります。

なお、料理屋とかで店先に盛つてある塩（盛り塩）はお清めとは関係なく、中国の皇帝の愛人が、



自分のところに皇帝を呼びたい為に、牛が好きな塩を盛って、牛車を止めたという故事から来たもので、人を呼ぶ意味の縁起かつぎとなっているものです。

#### 韓国仏教の 研修旅行に参加して

西北五地区仏教会主催の「韓国仏教に触れる研修旅行」に事務局を担当していることもあって、坊守とともに参加させてもらいました。十月九日から十二日までの日程で釜山・慶州・ソウルを旅してまいりました。



韓国は戦後キリスト教が大躍進し、仏教は廃れてしまったと思っ  
ていましたが、そうではありませ  
んでした。慶州の佛国寺で熱心にお参りしている若者。山門の前で深々と合掌礼拝している姿に感動を覚えました。

また、ソウルでは町の中心街にある曹溪寺に十一日にお参りさせていだいたところ、本堂の中はもちろん、本堂の裏側や、境内にゴザを敷いて熱心に五体投地の礼拝（写真）をしておられ、大変驚いてみると、係りの人から毎月の定例法要だとお聞きしました。

●研修旅行の直前の十月五日に昭和三十三年に二十九歳で亡くなった先の坊守の五十回忌法要を勤めさせていただきました。いつも、は呼ばれる立場から反対の立場で準備に追われ、ご法事を営むことの大変さを改めて身をもって体験させていただきました。（住職）



### お知らせ

◆報恩講（沿川講中当番）  
十一月二十六日（月）

～二十八日（水）

◆除夜の鐘（修正会後、お蕎麦が振舞われます。）  
一月一日  
午前〇時十五分前から

#### ◆初御講

二月二十八日（木）午前十時から

◆永代経法要（沿川講中当番）  
三月二十六日（水）

～二十八日（金）

※これまでに永代経をお申し込みになられた方々の法名を本堂に安置してお勤めいたします。

※新たにお申し込みの方は、永代経志Ⅱ三万円を添えてお申し込みください。お紐解きの読経・焼香のご案内があります。これまでにお申し込みになられた方も三日間ともぜひお参りください。

### 正休寺同朋会のご案内

十二月十一日（火）

午後一時から 定例会

平成二十年

一月八日（火）

午後一時から 定例会

二月十二日（火）

午後一時から 定例会

※同朋会は何時からでも入会できます。年会費二千円です。

### 宗祖親鸞聖人御遠忌法要 四年後に本山でご厳修

上の写真は、大正五年九月二十五日に執行された正休寺における「宗祖親鸞聖人の六百五十回忌法要」のときの模様です。お寺の記録によると、安田才助氏が「営主」となって、祖父の五十回忌追弔会と兼ねて行われたものが窺われます。

本山では、四年後の平成二十三年に、宗祖親鸞聖人の七百五十回御遠忌をお迎えいたします。その御遠忌の特別記念事業として、明治の再建以来百余年を経た東本願寺両堂等の御修復という歴史的事業に取り組んでおります。正休寺では昨年度で御遠忌の特別募財を完納させていただきました。皆様のご協力に対し厚く御礼申し上げます。

さて現在の正休寺の本堂は、明治二十四年に焼失し、その後再建されたものであります。その頃、本山の両堂は、元治一（一八六四）年の蛤御門の変によつて焼失し、明治期における先達の総力を結集して、明治二十八年にようやく再建され、明治四十四年に御遠忌をお迎えいたしました。

そういう時代の中、このような形で大正五年に御遠忌が勤まったということは、大変なご苦労であったと思われれます。今後、正休寺においても本山の御遠忌の後、お寺としての七百五十回忌のご法要をお勤めいたします。

# 正休寺だより

## 第3号

平成19年11月1日発行  
板柳町大字板柳字土井241  
TEL.0172-73-2016







「教区公開講座」開催  
 去る六月十二日、教区公開講座「仏教と現代」講座が、正休寺を会場に開催され、西北五地区のお寺の御門徒を中心に、当日一〇〇名を越える参加者があった。

講師の田代俊孝師は名古屋の同朋大学の教授をされ真宗を教えておられるが、念仏の教えと生活は切り離してはありえないという立場から、医療関係者と連携をし、終末医療や臓器移植などの問題に取り組みでおられる。当日は、日頃の取り組みを通じた具体例をあげながら、「脳死・臓器移植を考える―心と心のつながりの中で―」のテーマのもと熱心な講話がされた。



七月の御講は、畑岡講中の当番で、八月は六郷講中でそれぞれ勤められた。特に八月の御講では板柳で呉服屋を営む佐々木一仁氏にエレクトーン演奏をしていただいた。自身で作曲された曲目に解説を交え、その演奏に参詣者一同聞き入っていた【写真】。

九月と十月の御講はお休みで、十一月二十六日(月)から二十八日(水)の三日間、正休寺報恩講が勤まります。今年の御齋の当番は沿川講中の皆さんです。また、講師には初めての先生をお願いいたしました。北海道の菊地真一さんです。

## 毎月の御講に続いて 十一月は報恩講執行

報恩講は真宗門徒にとつて最も大切なご法要です。日程は次のようになっていますので、よろしくご参詣くださいますようお願い申し上げます。

十一月二十六日	午前十時 日中勤行 引続き法話 正午まで
十一月二十七日	午後一時 お速夜勤行 引続き法話 午後三時まで
十一月二十八日	午前十時 日中勤行 引続き法話 正午まで
十一月二十九日	午後一時 お速夜勤行 引続き法話 午後三時まで
十一月三十日	午後六時 お初夜勤行御伝鈔 引続き法話 午後八時まで
十二月一日	午前九時 御満座お待受法話 午前十時 御満座法要 引続き法話 十二時まで 正午 御齋

### 同朋会「日帰り旅行」

同朋会の恒例の日帰り旅行が、去る六月十六日行われ、四十三人が参加した。今回の目的地は秋田県の湯瀬温泉の姫の湯ホテルで、途中、小坂町の康楽館での記念写



真や鹿角市十和田毛馬内の常照寺(熊谷寛住職)の参拝をした。常照寺では、住職・坊守・筆頭総代のお出迎えがあり、茶菓の接待の後、住職からお寺の歴史などをご挨拶の中で教えていただいた。その中で境内地に何故「虚空菩薩」のお堂があるのかについて教えていただいた。それは、かつて明治の廃仏毀釈の中、近くの月山神社のご神体であった「虚空菩薩」を破棄したためであるとのことであった。破棄されたその像が質屋の店頭に並んでいたのを見かねた方が引き取り、現在の地にお堂を建てお祭りしているとのことであった。

では、その後の神社のご神体はどうなっているのかをお尋ねすると、「鏡」になったようだとのこと。ご本尊・ご神体について考えさせられる研修になりました。

## 平成19年度定時役員総会を開催

去る9月27日正休寺役員総会が開催されました。

会議では、総代長の安田義明氏が議長となって進行されました。はじめ役員の変更について各地区の世話方の移動が報告され、続いて小阿弥地区の総代である成田正明氏の辞任に伴う後任に長内早苗氏が就任することが承認されました。その後、退任者には感謝状、新任者にはそれぞれに委嘱状が手渡されました。続いて、「平成18年度決算、平成19年度予算(案)、特別会計の収支報告の審議に入り原案通り可決承認されました。

## 平成18年度正休寺経常費歳入歳出決算書

歳入総額 12,076,801円 期間 自平成18年9月1日  
 歳出総額 11,289,445円 至平成19年8月31日  
 差引額 787,356円

### 歳入の部

科目	説明種目	予算額	決算額	増/減
1 経常費	1. 賦課金	9,150,000	9,084,200	-65,800
	2. 会館使用料	570,000	230,000	-340,000
	3. 雑収入	7,080	39,413	32,333
	4. 前年度繰越金	2,295,188	2,295,188	0
	5. 総会参加費	0	0	0
	6. 建設費	0	428,000	428,000
合計		12,022,268	12,076,801	54,533

### 歳出の部

科目	説明種目	予算額	決算額	増/減
1 本山関係費	1. 各種負担金	428,300	421,300	-7,000
	2. 本山割当金	1,644,910	1,644,910	0
	3. 本山同朋会員志	110,700	110,700	0
	4. 本山修復瓦懇志金	1,895,592	1,823,392	-72,200
2 教化費	1. 使僧巡回費	30,000	30,000	0
	2. 正休寺同朋会	100,000	100,000	0
	3. 住職寺族研修費	100,000	24,090	-75,910
	4. 役員研修費	100,000	0	-100,000
3 会議費	1. 役員総会諸会議費	450,000	386,450	-63,550
4 営繕費	1. 修理費	100,000	351,342	251,342
	2. 備品費	100,000	0	-100,000
	3. 境内整備費	400,000	614,476	214,476
5 打飯米料	1. 打飯米料	1,320,000	1,320,000	0
6 本堂費	1. 荘厳費	150,000	63,285	-86,715
7 会館費	1. 会館管理費	200,000	80,000	-120,000
8 補助費	1. 御講	56,000	56,000	0
9 諸費	1. 水道 光熱費	1,700,000	1,433,662	-266,338
	2. 副住職生命保険	209,995	209,995	0
	3. 役僧積立金	230,087	230,087	0
	4. 火災保険料	1,900,000	1,879,823	-20,177
	5. 電話料	100,000	100,000	0
	6. 印刷費	50,000	33,373	-16,627
	7. 消耗品費	80,000	39,570	-40,430
	8. 通信費	130,000	75,900	-54,100
	9. 交通費	50,000	50,000	0
	10. 慶弔費	50,000	65,000	15,000
	11. 表彰費	30,000	37,200	7,200
	12. 渉外費	80,000	40,000	-40,000
10 積立金	1. 積立金	0	0	0
11 雑費	1. 雑費	50,000	68,890	18,890
12 予備費		176,684	0	-176,684
合計		12,022,268	11,289,445	-732,823



## 平成19年度正休寺経常費歳入歳出予算書

歳入総額 10,247,356円  
 歳出総額 10,247,356円  
 差引額 0円

期間 自平成19年9月1日  
 至平成20年8月31日

### 歳入の部

(単位:円)

科 目	説 明 種 目	前年度予算額	本年度予算額	増/減	
1	経常費	1. 賦課金	9,150,000	9,150,000	0
		2. 会館使用料	570,000	300,000	-270,000
		3. 前年度繰越金	7,080	10,000	2,920
		4. 雑収入	2,295,188	787,356	-1,507,832
合 計		12,022,268	10,247,356	-1,774,912	

### 歳出の部

(単位:円)

科 目	説 明 種 目	前年度予算額	本年度予算額	増/減	
1	本山関係費	1. 各種負担金	428,300	428,300	0
		2. 本山割当金	1,644,910	1,696,570	51,660
		3. 本山同朋会員志	110,700	110,700	0
		4. 本山修復瓦懇志金	1,895,592	0	-1,895,592
2	教化費	1. 使僧巡回費	30,000	30,000	0
		2. 正休寺同朋会	100,000	100,000	0
		3. 住職寺族研修費	100,000	60,000	-40,000
		4. 役員研修費	100,000	100,000	0
3	会議費	1. 役員総会諸会議費	450,000	450,000	0
4	営繕費	1. 修理費	100,000	100,000	0
		2. 備品費	100,000	50,000	-50,000
		3. 境内整備費	400,000	400,000	0
5	打飯米料	1. 打飯米料	1,320,000	1,320,000	0
6	本堂費	1. 荘厳費	150,000	70,000	-80,000
7	会館費	1. 会館管理費	200,000	100,000	-100,000
8	補助費	1. 御講	56,000	56,000	0
9	諸 費	1. 水道 光熱費	1,700,000	1,700,000	0
		2. 住職生命保険	209,995	209,995	0
		3. 役僧積立金	230,087	230,087	0
		4. 火災保険料	1,900,000	1,900,000	0
		5. 電話料	100,000	100,000	0
		6. 印刷費	50,000	350,000	300,000
		7. 消耗品費	80,000	50,000	-30,000
		8. 通信費	130,000	130,000	0
		9. 交通費	50,000	50,000	0
		10. 慶弔費	50,000	70,000	20,000
		11. 表彰費	30,000	50,000	20,000
		12. 渉外費	80,000	40,000	-40,000
10	積立金	1. 積立金	0	0	0
11	雑 費	1. 雑費	50,000	50,000	0
12	予備費		176,684	245,704	69,020
合 計		12,022,268	10,247,356	-1,774,912	

## 正休寺住職襲職法要・記念事業特別会計

収入総額 38,575,516円

支出総額 37,084,964円

差引額 1,490,552円

平成19年8月31日現在

### 収入の部

(単位:円)

	科目	予算額	収入額	備考
1	ご依頼金額	27,450,000	13,189,300	納入率48%
2	住職負担金	1,000,000	1,000,000	
3	借入金	26,000,000	23,000,000	みちのく銀行
4	祝賀会参加費	500,000	758,000	199名分、祝儀360,000円
5	雑収入	100,000	628,216	利息、特別懇志金616,000円
	合計	55,050,000	38,575,516	

### 支出の部

(単位:円)

	科目	予算額	支出額	備考
1	法要費	1,600,000	1,134,557	会釈、参拝用椅子(レンタル)他
2	祝賀会費	1,500,000	1,281,910	会場使用料、食事代他
3	記念品費	1,280,000	1,539,500	法中・門徒記念品
4	本堂修繕費	7,875,000	19,400,000	
5	鐘楼堂建築費	11,550,000		
6	会議費	400,000	324,916	
7	事務・通信費	800,000	320,018	案内発送、「正休寺だより」制作費
8	雑費	203,200	135,666	
9	借入金返済	27,141,800	10,208,397	利息含む
10	住職就任経費	700,000	740,000	
11	退職記念品費	2,000,000	2,000,000	
	合計	55,050,000	37,084,964	



**お庫裡からの  
つぶやき**

新聞紙に包まれたいただきもの、中を開けると一本の7cm程の松茸でも大きな大きなありがたい松茸だった。

みんなの好きな松茸ご飯。子供たちと一緒に「香り松茸、味・・・だよね。」何て言いつつ、宝探しの様にお茶碗の中を探り、お箸で摘んでみると「ごぼうだ！」と、今度は眉間にシワ。

賑やかすぎて秋を感じながらの優雅な食卓とはほど遠かったけれど、みんなの表情が何だかとても嬉しく、秋を感じ始めるこの時期、お茶碗一杯の炊きたての松茸ご飯、持った左手も心もなんだか温かくなった。

記念にと、かき集めた松茸をご飯の上に飾って記念写真撮ってみました。